

BEAUTY NOTE

2017年西日本で飛散数が前年の2倍！ 花粉症シーズン間近！快適に過ごすヒント

日本気象協会から発表された2017年の春の花粉飛散予測(第3報)によると、スギ・ヒノキ(北海道はシラカバ花粉)の花粉飛散数は、前シーズンと比較すると関東以北で50~70%台となるものの、西日本では高温・多照などの花芽が多く形成される気象条件がそろったため、多くの地域で例年を上回り、前シーズンよりも非常に多い予想となっています。エリア別にみると、9エリア(北海道、東北、関東甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州)のうち6エリアが「非常に多い」~「やや多い」という予測で、2月上旬に九州北部や中国・四国・東海地方の一部から花粉シーズンがはじまり、3月には各地で飛散のピークを迎える見込みです。



<2017年 地方ごとの花粉飛散数予測(2017年1月17日発表) 前シーズン比(地方平均値)>

北海道	東北	関東甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
少ない (50%)	少ない (50%)	やや少ない (70%)	やや多い (140%)	非常に多い (240%)	非常に多い (290%)	多い (170%)	非常に多い (260%)	非常に多い (270%)

(出典: 日本気象協会 tenki.jp)

花粉にさらされることを防ぐため、環境省の花粉情報サイトや「花粉症環境保健マニュアル 2014」には、以下のような基本的対策が挙げられています

- ・マスク、メガネを着用する。特にマスク内側に当てガーゼ等をつけると効果が高い。
- ・換気時にはレースのカーテン等で遮るとともに、開窓を10cm程度にとどめる。
- ・掃除はこまめに行い、掃除機の使用だけでなく、濡れ雑巾やモップによる清掃を行う。
- ・洗濯物は屋内に干す。
- ・衣類の素材は羊毛や毛織物は避け、ポリエステルや綿製品で起毛のないものを着用する。

これからスギ・ヒノキ花粉飛散のピーク時期を迎えるにあたり、「花粉を出来るだけ、衣類や身体に付着させない・家の中に持ち込まない」ための工夫が重要となってきます。

加えて、花粉をはじめとする様々な刺激によって、通常よりも肌が敏感に反応しやすくなっていることから、この時期に合わせた適切なケアも大切となります。そこで花粉の付着を抑える方法や、マスク着用でも魅力的にみせるアイメイク術など、花粉シーズンをより快適に過ごすためのヒントをお届けします。

【快適に過ごすヒント①: 花粉の付着を抑える】

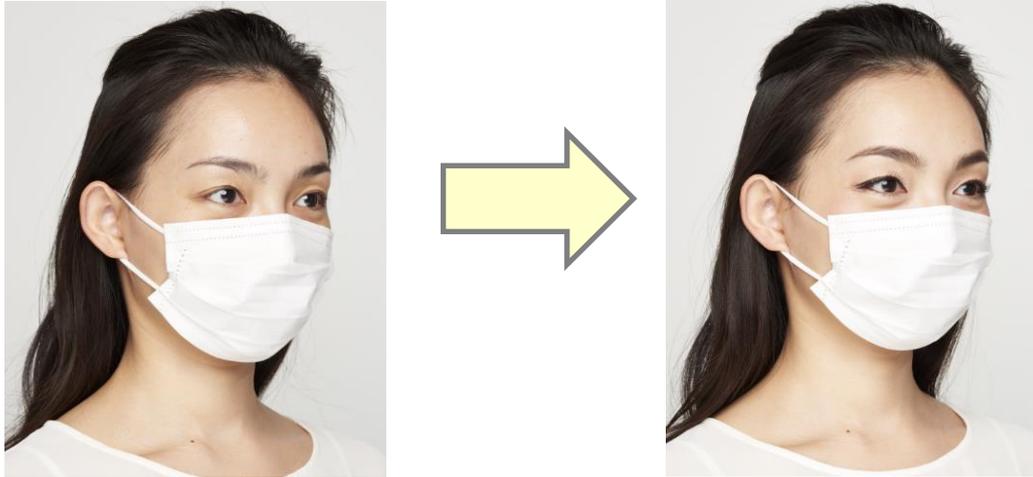
外出時には、マスク、メガネの着用に加え、身につける衣類についても、羊毛や毛織物といった花粉が付着しやすい素材を避けることが大切とされています。露出面が大きく、花粉が付着しやすい頭、顔、手などは、つばの広い帽子や手袋の着用などで対応するとともに、花粉など空中の飛散物質の吸着を防ぐ効果のあるスプレーやローションを使用するのも効果的です。これらは、プラスもしくはマイナスの電荷をもった表面の滑らかなヴェールを肌や髪の上につくすることで、同じくプラスやマイナスに帯電している花粉などの飛散物質をはじいたり、付着を抑えたりする効果があります。



【快適に過ごすヒント②: マスク着用でも魅力的にみせるアイメイク術】

花粉等を予防したいこの時期はマスクが手放せません。しかし、マスクをすると顔の大部分を覆ってしまうので、なかなかメイクを楽しめないという経験はありませんか。また、相手に与える印象も気になる場所。そこで、マスクをしている時により魅力的にみせることができるおすすめのマスキメイク術を解説します。

＜ポイント＞ アイメイクは唯一見える部分だからこそしっかりと



目もとはマスクをしていて唯一見える部分なので、マスク美人と言われるためには欠かせない、最も重要な箇所と言えます。だからこそ、アイメイクはしっかりと強調することがポイントです。

- ① アイシャドーは化粧くずれが目立たない明るめのトーンの色(ピンク系やベージュ系)を使用します。



- ② 目のキワがポイントのため、くずれにくいクリーム系のアイライナーと 14 度(艶っぽい印象を高める最適な角度)になっているチップを使用して目尻を長めに演出します。



- ③ マスカラはくずれにくいウォータープルーフタイプを使用します。



- ④ 目もとをさらに強調したい場合は、目尻側につけまつ毛とウォータープルーフのリキッドアイライナーをプラスします。



<参考資料①> ※表示価格は希望小売価格です。

お出かけ前にシューッとひとふきするだけで花粉、PM2.5 をブロックし、肌と髪に寄せ付けけないスプレー
イハダ アレルスクリーン(雑貨)
50g 900円(税抜)

○資生堂独自の特許技術「反発イオン技術」により、スプレーするだけで、花粉の反発と吸着を防止。湿疹・皮膚炎の原因のひとつである「アレル物質(花粉、PM2.5)」を肌と髪に寄せ付けません。

ー特許第 4562585 号:花粉吸着防止剤に関する特許

○天然温泉水配合

○エアゾール容器を採用。ミクロの霧でメイクの上からでも使えます。

○皮膚アレルギーテスト済み(全てのかたにアレルギーが起きないというわけではありません)



鼻や目のまわりに塗るだけで、花粉、PM2.5 をブロックし、鼻孔や目への侵入を防ぐジェル
イハダ アレルスクリーンジェル(雑貨)
3g 900円(税抜)

○資生堂独自の特許技術「反発イオン技術」により、鼻や目のまわりに塗るだけで、花粉の反発と吸着を防止。湿疹・皮膚炎の原因のひとつである「アレル物質(花粉、PM2.5)」をブロックし、鼻孔や目への侵入を防ぎます。

ー特許第 4562585 号:花粉吸着防止剤に関する特許

○天然精油配合

○透明さらさらジェルで、素肌だけでなくファンデーションやメイクの上からでも使えます。

○皮膚アレルギーテスト済み(全てのかたにアレルギーが起きないというわけではありません)

○TPOや好みで選べる、2つの香りです。(甘くさわやかなピュアオレンジの香り/すっきりクールなユーカリミントの香り)



目もとのかゆみ、かぶれ、赤みに効くノンステロイドの皮膚治療薬クリーム

イハダ プリスクリードi<第2類医薬品>

6g 900円(税抜)

○乾燥、花粉といった外部刺激などによる、目もとのかゆみ、かぶれ、赤みに効きます。

○かゆみ抑制成分「ジフェンヒドラミン」配合のノンステロイド治療薬です。

○目のまわりにも広げやすい軽やかなテクスチャーで、しっとりとしながらも、ベタつかず、テカらないクリームです。

○素肌と同じ弱酸性。

○無香料、無着色、非ステロイド。

○3つの医薬品有効成分を配合(1g中)

・ウフェナマート<抗炎症成分>50mg

ー肌の炎症部位に直接作用し、原因物質を抑え、炎症を鎮めます。※非ステロイド成分

・ジフェンヒドラミン<かゆみ抑制成分>10mg

ーかゆみを引き起こす原因物質(ヒスタミン)の作用を抑え、肌に生じたかゆみをすばやく鎮めます。

※非ステロイド成分

・グリチルレチン酸<抗炎症成分>3mg

ー肌に生じた炎症を鎮めます。※非ステロイド成分

【適応症】皮膚炎、湿疹、かゆみ、かぶれ、ただれ、あせも、おむつかぶれ

【用法・容量】1日数回、適量を患部に塗布してください。



<参考資料②> メーキャップ商品紹介

敏感肌用 日中用美容液・化粧下地

2017年
1月21日
BBタイプ
新登場

花粉・ちりなどの微粒子汚れから肌を守ってケア。

BB 効果で赤み・くすみも自然にカバーし、厚塗り感のない軽さを引き出す日中用保護美容液・化粧下地

d プログラム アレルバリア エッセンス BB

SPF40・PA+++ 40mL 2色 3,000円(税抜)

※表示価格は希望小売価格です。

○みずみずしく広がり、まるでうるおいカプセルで包んでいるかのように、乾燥からも肌を守ります。

ーアレルバリアテクノロジー搭載

ーH-スタビライジング A 配合(エリスリトール、グリセリン/保湿)

○厚塗り感のない軽い仕上がりです。

○赤み、くすみをカバーして色ムラのない素肌感を演出します。

ーミネラルカバーパウダー配合

10時間化粧持ちデータ取得済み(資生堂調べ。効果には個人差があります)

○紫外線 A 波、B 波からブロックします。

ーSPF40・PA+++

○ノンケミカル処方(紫外線吸収剤不使用)

○敏感肌の方のご協力によるパッチテスト済み

○アレルギーテスト済み

○ニキビのもとになりにくい処方

(全ての方にアレルギーや皮膚刺激がおきない、またニキビができないわけではありません。)

○低刺激設計

※お客さまからのお問い合わせは「資生堂インターナショナルお問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-81-4710」でお受けしています。



目もとアイテム

<アイシャドー>

自然な立体感を演出する
アイシャドー&アイライナー

マキアージュ
ドラマティックムードアイズ



<マスカラ>

1本1本濃く長い、セパレートまつ毛をつくる
360°拡張マスカラ。

マキアージュ
フルビジョン マスカラ



<つけまつ毛>

ベネフィーク
セオティ アイラッシュ
(グラマラスパノラマ)
(スウィートパノラマ)



<アイライナー>

速乾。にじまない鮮明ラインの
漆黒筆ペンアイライナー
マキアージュ
パーフェクトファインライナー



※お客さまからのお問い合わせは「資生堂お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-81-4710」でお受けしています。